

～ 全国支部担当者会議報告 ～

事務局長 澤 口 勇 治

令和5年10月28日(土)、東京国際フォーラムを会場に「全国支部担当者会議」が開催されました。新型コロナウイルス感染症がまん延していた期間は本会議もオンラインで開催しておりましたが、今回は対面を基本とし、全国から Zoom 参加者を含め約 60 名の方が参加され、北海道支部代表して参加させていただきました。

本会議開催の趣旨は、支部活動の情報交換、基本的な活動方針の確認です。
目的では・・・

- ① 協会の成り立ち・設立意義を再確認し共有する。
- ② ALS 患者・家族に必要な諸制度の理解を深める。
- ③ 直面している会員減少や後継者問題、活動資金等の問題を解決する道筋を探る。

これらの課題を話し合い、課題解決に向けた目標を共有して今後の活動の一助にする。

11 時から始まった会議では、午前の部は恩田会長の挨拶のあと常務理事で事務局長の岸川氏から日本 ALS 協会の成り立ち、支部の位置づけ、会員数の推移等の説明がありました。

昼食を挟んで午後の部では里中副会長から「重度訪問介護の制度・利用運用について」を、里中氏が所属する鹿児島県支部の現状と併せて説明がありました。その後のフリートークでは各支部からそれぞれ抱えている問題・課題の報告がありました。各支部とも共通して①会員減少→収入減 ②役員の高

齢化 ③後継者不足等の問題点が浮き彫りになりました。

16時00分 酒井副会長より閉会の挨拶があり、有意義な会議を終了することが出来ました。

今後とも会議で話し合いされた課題を支部活動に繋げるよう頑張っていきたいと思い、空路千歳へ戻りました。



担当者会議会場